



月・火休館、祝日開館 開館時間 9:30~17:00

今月のご案内

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
月火曜日は 休館日			陶芸教室 夜間開放		わくわく	陶芸:素焼
10	11	12	13	14	15	16
	祝日開館		陶芸教室 夜間開放			
17	18	19	20	21	22	23
			陶芸教室 夜間開放			
24	25	26	27	28		
振替休日 開館			陶芸教室 夜間開放			

わくわく土曜日ランド

わくわく巨木ランド ～雪のブナ林を歩こう～



巨木(きよぼく)がたくさんはえている、雪のブナ林を歩こう! 冬の森は、夏にはササが生えていて歩けないようなところも歩けちゃう。帰り道はしりすべりだ!

【日時】2月 8日(土) 10:00~15:00

【対象】町内の小学生(小学3年生以上)

※保護者同伴可。

【集合】ブナセンター(9:55)/町民センター(9:45)

【参加費】300円

【定員】15名

【持ち物】野外で活動できる温かい服装、防寒着、

長靴、昼食、飲み物、リュック、おやつ、

タオル、着替え一式、替えの手袋と靴下

【その他】荒天時は室内で木工。

※雪深い冬の森を2~3km歩きます。

活動中、トイレはありません。

◆工房の利用に関しては、お電話にてお問い合わせください。

陶芸教室 時間:13:30~15:30&18:30~20:30

夜間開放 時間:18:30~20:30(木工房・陶工房)

※陶芸教室、食工房の利用は前もっての予約が必要です。

身近なブナの木 ③温泉のブナ

黒松内の町木は「ブナ」。たとえブナ林に行けなくても、もっと身近な所でブナの木を楽しめるようにと、町内のいろいろな場所にブナが植えてあります。皆さんが普段よく行く場所にもブナがあるかもしれません。そんな身近なブナの木を紹介するシリーズです。 ※ブナの写真は昨年5月に撮影したものです

「黒松内温泉ぶなの森」がオープンしたのは1998年。その時、入口にシンボルツリーとして植えられたブナが、3本並んで育っています(写真①)。大きな樹名板があるので、おなじみの方も多いのでは?

温泉のまわりには、ほかにもブナが植えられていますが、なかでも樹形が美しいのが、温泉の建物の左側にあるブナです(写真②)。「森林療法・おさんぽの会」では集合場所・休憩場所にもなっています。

特に昨秋は、このブナにもたくさん実がなりました。今年の春はこの木の下に、ブナの芽生え(実生)を見ることができるかも(図③)。芽生えの時期はちょうどブナが開葉する頃(5月上旬)。春になったらぜひ、温泉に入る前にちょっとお散歩して、ブナの若葉と実生の見学をしてみてください。雪解けが待ち遠しいですね。



②建物横の樹形がとても美しいブナ



①入口の3本ブナ



③ブナの実生

みしょう



歌オブナ林天然記念物指定

100周年(2028年10月22日)まで、あと3年!



FacebookのQRコードはこちら

発行所: 黒松内町ブナセンター

〒048-0101 北海道寿都郡黒松内町字黒松内512-1

TEL 0136-72-4411 FAX 0136-72-4440

MAIL bunacent@host.or.jp HP <https://bunacent.host.jp>

FB <https://www.facebook.com/kuromatsunai.bunacent>

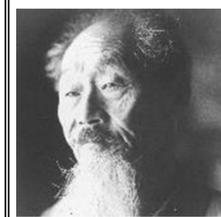
標ってなんて読む？

この漢字は、「かんじき」と読みます。かんじきとは、雪の上や田んぼの中を歩くときに、足が沈まないように履き物の下につける道具のことです。黒松内のかんじき作り名人・故渋谷吉尾さんによると、「標」には、衣・食・住（「糸」=衣、「田」=食、「木」=住）が込められており、雪の多い北国の暮らしに欠かせない「民具」（生活道具）だったといえます。

かんじきの形状は、地域によって様々。北海道のかんじきは、2つの杵材を組み合わせた形状のものが多く使われました。これは、寒冷な多雪地帯の雪質でも歩きやすいように、本州のかんじきよりも縦に長く丈夫なつくり改良されたもので、長距離移動や山仕事に適していました（氏家1995）。

渋谷さんの作る「渋谷式かんじき」も北海道のかんじきの特徴が現れていますが、使いやすさを重視したオリジナルの工夫に、名人の心意気を感じます。

氏家等(1995)北東アジアにおけるカンジキの発生と伝播、「北の歴史・文化交流研究事業」研究報告、北海道開拓記念館



渋谷吉尾さん
しぶや よしお

1910年生まれ。65歳で農家を引退後、「世の中に恩返しをしたい」との思いで30年間かんじきを作り、人々に贈り続けた。

かんじきの他、ブナセンターのクラフト講座で作るしめかざりも渋谷さん直伝の技。2003年、93歳で他界された。

これが「渋谷式かんじき」だ！

「鼻上げ」といって前輪の先端部をそり上げている。つま先が雪に突き刺さらないので歩きやすい

ロープは縛りやすいよう細め。長靴との相性は抜群



素材は直径10~15cmのヤマゲワ。丈夫でそりが戻らない

吉や「渋谷吉尾」の焼き印が押しあてられている

普通は革や縄を使うが、雪がつかないように番線（太い針金）を用いるのが渋谷式

ブナセンターの渋谷式かんじきは、1日200円で貸出しています（使用は原則、町内に限ります）。気軽にはけて身動きがとりやすく、歩き心地はスノーシューに引けをとりません。ぜひ履いて確かめてみてくださいね。

3月1日に生物多様性保全奨励事業(ブナセンター賞)の発表会を開催します！

令和5年度受賞者・前田唯真氏（北海道大学）＜成果発表＞
黒松内ブナの祖先は最終氷期の北海道に分布していたのか？

北限のブナのDNAを解析し、最終氷期に黒松内のブナの祖先は北海道にとどまっていたのか？北限の環境にどのように適応してきたか？を明らかにしようとする研究です。

最終氷期のブナの北限は新潟県あたりというのが通説(塚田1982)ですが、新たな説が成り立ったら面白い！結果が気になります！（永田）

塚田松雄(1982)日本列島における第四紀末のブナ属の発達。日本生態学会誌 32巻1号: 113-118

令和6年度受賞者・深澤 遊氏（東北大学）＜中間報告＞
北限のブナ林における広葉樹2種の倒木内部の菌類群集と腐朽型の網羅的解析

枯れた木の分解者である「腐朽菌」の種類を、北限のブナ林で明らかにしようとする研究です。その腐朽菌の特徴(腐朽型)から、枯れた木がブナ林の中で果たす役割(炭素の循環や生物への住みかの提供)が見えてくるかもしれません。

黒松内で腐朽菌が調べられるのは初めて！北限のブナ林ならではの、腐朽菌の種類や特徴が見つかったら面白いですね！（永田）